

社会的事象に興味を持ち、生きる力を育成

～学級・教科から思考力を向上させる取り組み～

都農町立都農中学校
講師 川野 喜朗

1 はじめに

本校は、生徒数239名の都農町で唯一の中学校である。生徒は明るく活発で、学習や諸活動に素直に取り組んでいる。地域には 日向国一之宮 都農神社 や 都農ワイナリー 尾鈴山 があり、地域活性化を図るイベントが多い町である。生徒は、日向国一之宮都農神社の神輿に参加している。新聞活動については、各学年の社会科教員を中心に取り組んでいる。

本校では2017年からNIE実践校として指定を受け、新聞に興味を持つことを基本として、NIEへの理解を高めながら、社会科の学習において新聞活用に関して取り組んできた。新聞に関する生徒の実態は、日常生活においてほとんど新聞の内容等について話題に出ることが少なく、家庭でも、新聞を購入していないという状況であった。そこで、1年目は 生徒を新聞に親しませる ということを経験の最大の目標としてきた。そこで、2年目は新聞に親しみをもった生徒がどのように成長するのか を目標にした。



2 本年度の取り組み

(1) 学校全体の取り組み

ア 各紙の割り振りと配置について

新聞6紙（宮日・朝日・日経・読売・西日本・毎日）については、3学年でそれぞれ2紙ずつに割り振り、2か月の間、各学年等の教室廊下に配置した。

また、各学年の掲示板に各紙のトップ面を掲示したことにより生徒に多様な新聞に触れてもらう機会とした。バックナンバーを各学年の棚に常置させておき、生徒がいつでも新聞を読み返せるようにした。



【各学年の新聞掲示】

(2) 社会科の実践事例

ア 授業への活用

社会科では、新聞記事の紹介を積極的に行っている。授業の導入段階前に、新聞のトップ記事や、地域欄の都農町や西都・児湯の記事を紹介している。また、紹介のみに限らず、授業の中心として新聞記事を活用している。

第1学年では、歴史的分野の古墳時代を学習する際に、西都原古墳群が日本遺産に認定された記事を導入段階で活用した。生徒達も、興味を持ちながら古墳について学習することができた。第3学年では、歴史的分野の第2次世界大戦について、新聞記事を中心とした授業を実践した。学習課題を新聞記事から第二次世界大戦前後の出来事をつかもう。として、当時の新聞から読み取りを行った。生徒は、当時の新聞に馴染みがなく、読むことに苦戦をしていたが、充実した表情を見せていた。

（第3学年に行った授業の指導案を●ページに掲載）

イ テスト問題への活用

各学年の担当が各定期テストにおいて、社会的事象への関心・意欲・態度に関する問題を出題している。出題する問題として、授業内で紹介した記事や掲示板に貼ってある記事などを選び、生徒に知っておいて欲しい記事や考え続けてほしい記事、生徒自身が興味を持った記事問題を作成している。

定期テストを重ねるごとに、社会的事象への関心・意欲・態度の向上が見られ、新聞記事への興味も向上した。



【定期テストの問題として活用した記事】

ウ 学習発表会における社会科の展示スペースの活用

学習発表会の教科の展示発表として、NIEに関する掲示を行った。

第1学年では、帰りの会で実施している1分間スピーチの原稿をまとめ掲示を行った。保護者・上級生に見てもらう機会が日頃はないので、自分の記事を見てもらう良い機会となった。

第3学年では、新聞づくりを行い掲示した。見出しの大切さやレイアウトの工夫など新聞を作成する難しさを体験した。作成した新聞の完成度は高く、保護者や下級生が感心する内容だった。



【学習発表会における社会科の展示スペースにおけるNIEブースの作品】

(3) 学校全体の実践事例

ア 都農町に関する新聞記事コーナー設置

中校舎1階廊下は、保健室や理科室がある通りとなっているため、全校生徒が気軽に閲覧できる場所となっている。そこで、生徒の記事の他に、都農町の小学校・高校の記事を掲示した。

また、都農町の行事にも着目し、郷土愛を育ませる記事も掲示した。生徒は休み時間や昼休みに立ち止まり、関心を高めて記事を読む姿が見られた。また、自分の姿が掲載されている記事を見つけると友達に自慢する様子や、喜んだ表情を見せてくれた。



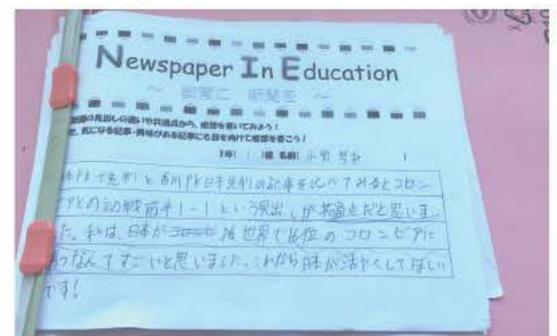
【都農町の記事掲示板】

イ 新聞記事についての感想用紙設置

各学年の掲示板に各紙のトップ面を掲示したことに對しての感想用紙を設置した。生徒は各ジャンルの様々な分野の感想記入をしていた。

2018年サッカーW杯の記事が連日掲載された週は、生徒たちの関心も高く、多くの感想用紙が集まった。

今後は、スポーツやイベントの記事の時だけでなく、政治・経済に目を向け、自分の意見を持てる生徒の育成につなげたい。



【新聞記事感想用紙集】

(4) 学年の実践事例

ア HAPPY NEWS スクラップ帳づくりの実践

新たな気付きを得られたり読んで幸せな気持ちになる記事などを一般読者から募る HAPPY NEWS と題した取り組みを日本新聞協会が行っており、第1学年では、HAPPY NEWS のスクラップ帳を作成した。誰もが笑顔になる記事をテーマに、新聞を切り抜きノートに貼った。生徒は、スクラップ帳を開くたびに友達が選んだ記事を、笑顔で読む姿が見られた。



【HAPPY NEWS スクラップ帳】

イ 帰りの会での1分間スピーチ

毎日の帰りの会での1分間スピーチにおいて、気になる新聞記事を紹介し、その記事についての感想を発表することを第1学年で実践した。初めの頃は不慣れな面もあり、記事はトップ記事を選ぶ生徒が多く見られた。また、感想の内容も一言で終えることしかできなかった。

苦勞する生徒も多く見られたが、2学期を過ぎたころには、休み時間に記事を選ぶ姿が見られた。また、感想を発表原稿が埋まるほどに書く生徒が増えた。3学期に入ると、いかに友達に分かり易く伝えることができるかを考え、記事の内容の要約をしたうえで、自分の考えを発表するまでに成長した。毎日の継続から、予想を上回る成果が見られた。



【1分間スピーチ NIE用紙】

3 昨年度の課題における今年度の成果

昨年度の課題、反省としてNIEへ取り組む内容の充実を図ることが挙げられた。そこで今年度は、各学年におけるNIEコーナーの設置や、都農町NEWSの設置学習発表会でのNIEブースを開き保護者へ発信すること、授業・定期テストへの活用など様々な取り組みを実施した。

(1) NIEコーナーの設置

昨年度は、NIEコーナーを設置する場所が少なく、生徒が新聞に触れる機会が少なかった。そのため今年度は、各学年の生徒が必ず通る廊下に常備した。昨年度より新聞記事に注目する生徒が増え、現代社会の出来事や問題に興味を示す姿が見られた。また、学習発表会においてNIEブースを設置した結果、保護者の方々へ日頃の取り組みを示すことが出来た。保護者に周知することで、家庭での会話の広がりにも期待を持つことができた。NIEコーナーを設置し確かな前進はみられたが、新たな課題として全く興味を示さない生徒への手立てを講じることが出来なかった。そのため、新聞への興味において格差が生じてしまった。学級・学年単位で興味が高まる手立てを今後は考察していきたい。

(2) 授業における活用

昨年度は、各学年における新聞を活用した授業が出来なかったため、年度当初に社会科の教科研究会でNIEの授業実践を試みることを協議し、導入段階や授業の中心としての活用、テスト問題の作成など社会科として、実践を広げることができた。今年度は、各学年の社会科担当が充実した実践をすることができ、生徒の新聞への関心の高まりや読解力の向上を実感することができた。しかし、この実感の根拠となるデータもとぼしく、教育的効果を立証するまでには、至っていない。また、社会科のみの実践となり、各教科に広めることができなかった。そのため、今後の課題として、根拠となるデータをもとに教育的効果を立証してテスト問題を作成し、アンケートの実施などを試みる必要がある。また、同僚へのNIE周知のための校内研修を設け、学校単位でのNIE推進を試みる必要があった。

最後に、2年間のNIE実践指定校として、NIEが生徒の成長へとつながる取り組みであることを実感することができた。多くの取り組みを実践したことで、新たな課題が見えた実りある1年間だった。SNSの普及等で、活字離れが進んでいる現状を考えれば、文字から情報を得て、自分の考えをもつことのできる生徒の育成は、大変意義があるものだった。今後も、成果の見られた取り組みを継続しつつ、新たな取り組みに挑戦していきたい。

社会科（歴史的分野）指導案

1 単元 第二次世界大戦～現代史

2 本時の目標

- 第二次世界大戦前後から現代に至るまでの歴史の流れについて、新聞記事から読み取り、把握することができる。
- 新聞の有用性について気づかせ、今後の社会生活に活かしていこうという態度を育てる。

3 学習指導過程

	学習内容及び学習活動	授業で心がけたいこと
つかむ・見通す	1 既習事項を想起する。 ・第二次世界大戦前後の出来事を振り返る 2 学習課題をつかむ。 新聞記事から第二次世界大戦前後の出来事をつかもう。 3 学習の見通しをもつ。 ・第二次世界大戦前後のできごとについて順番を振り返る。 ・	<ul style="list-style-type: none"> ・ ベーシックカードから出題し、これまで学習した内容について想起させ、本時の学習につなげる。 ・ 数紙の朝刊を紹介し、新聞の見出しが情報を簡潔にまとめられていることに気づかせる。 ・ 第二次世界大戦前後の出来事に関する新聞を配付し、順番について個人で考え、班内で意見をまとめることを知らせる。
解決する	4 本時の問題に取り組む。 5 話し合う。 6 発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人でワークシートに自分の考えをまとめる。 ・ 班内で出来事の順番について話し合う。 ・ 班の代表者が黒板に予想を発表する。
まとめる・振り返る	7 学習のまとめをする。 8 本時の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師が新聞記事の内容について、出来事名を知らせ、生徒の発表内容を確認する。 ・ 新聞のもつ有用性（見出しから情報を推測でき、細かな情報を知ることができる）について知らせる。